

〔議案第一〕

自己批判！

— 関東地方協議會常任委員會提出 —

— 前文 —

□人々の意識が彼等の存在を決定するのではなく、寧ろ反対に彼等の社会的存在が彼等の意識を決定するのである……或る個人を判断するのに其人自身の考へてゐる所に基いてはしなないと同じ様に、かやうな変革の時代を時代の意識から判断することは出来ない。

□哲學者は世界を種々に解釋したただけだ。(しかし)世界を變更することか問題なのだ。

— 本文 —

一 經濟狀勢の現時的推移

1. 小賣物價は騰貴した(昭和六年平均に比し八年四月は八厘の騰貴)にも拘らず定額貨幣賃銀は却って下落し、労働階級の実質賃銀の低下を物語る。

□ 他方資本利益は第二表収益率の示す如く、躍進し労働階級の相對賃銀の激落、生活水準の相對的低下を物語る。

イ、□こそは所謂「インフレーション」の何たるかを示す。

第一表 労働人員、賃銀、并に東京市内小賣物價指數

— 日本銀行調査 — △印は缺損

	労働人員	定額賃金	実質賃銀	小賣物價
昭和五年平均	八二、〇	九六、二	九八、七	一五五
六年全	七四、四	九一、一	九〇、七	一三五
七年全	七四、七	八八、一	八八、一	一三七
八年四月	八一、一	八五、五	八八、五	一四六

第二表 耕込資本金収益率一覽表

— 三菱經濟研究所 —

	綿紡績	鉄鋼	印刷	工業薬品	人造肥料	運搬取扱
昭和五年下期	三、七	△六、七	八、五	五、一	五、六	三、七